

今月から17回にわたってSDGsを紹介していきます。

【シリーズSDGs ①】身近なところからSDGsの取り組みをしましょう。

ゴール1「貧困をなくそう」



SDGs1は「貧しい人を無くすこと」を目標としています。

全世界で見ると、現在も多くの人が、左のような貧しい生活を強いられている状況です。

- ・1日1.25ドル未満(約137円8月時点)で暮らしている
- ・十分な食事が出来なくて、常に空腹状態
- ・きれいな水を手に入れることができない
- ・衛生施設を利用できない

これらの状況を無くすため具体的には、**世界中の極度の貧困をなくす。様々な次元で貧困ラインを下回っている人の割合を半減させること**を目標としています。

ユニセフの調査によると、日本においても7人に1人の子どもが貧困状態であり、豊かな国だと思われる日本でも、貧困の中で暮らしている子どもは少なくないという事実は、決して見過ごせる問題ではありません。

○行政の役割としては

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせるために、すべての住民が必要最低限の暮らしを確保することができるよう、きめ細やかな支援を行います。

○私たちができること(例)

- ・募金活動に参加する。
- ・寄付をする。
- ・ボランティア活動に参加する
- ・フェアトレード商品を購入する。

※フェアトレードとは、発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、立場の弱い途上国の生産者や、労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」のこと。



フェアトレード製品のマーク

2030年までの国際的な目標の実現に向け意識をして実践しましょう。

7つのターゲット

1.1	2030年までに、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。
1.2	2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減させる。
1.3	各国において最低限の基準を含む適切な社会保障制度及び対策を実施し、2030年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する。
1.4	2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、全ての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源も平等な権利を持つことができるように確保する。
1.5	2030年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の強靭性(レジリエンス)を構築し、気候変動に関連する自然災害やその他の経済、社会的打撃に対するリスク度合や、脆弱性を軽減する。
1.a	あらゆる次元での貧困を終わらせるための計画や政策を実施するべく、後発開発途上国をはじめとする開発途上国に対して適切かつ予測可能な手段を講じるため、開発協力の強化などを通じて、さまざまな供給源からの相当量の資源の動員を確保する。
1.b	貧困撲滅のための行動への投資拡大を支援するため、国、地域及び国際レベルで、貧困層やジェンダーに配慮し、開発戦略に基づいた適正な施策的枠組みを構築する。

[1.1] のように数字で示されるものは、それぞれの達成目標を示しています。

[1.a] のようにアルファベットで示されるものは、実現のための方法を示しています。

問 企画商工観光課 企画・SDGs推進班 ☎(72)1151